



園だより



令和2年9月28日
佛教大学附属幼稚園

「仏教保育 10月のねらい」

同時協力

「友達と一緒に育つ」

園長 佐藤 和順

今夏の暑さは格別でしたが、ようやく過ごしやすい季節がやってきました。秋といえば「スポーツ」「読書」「食欲」など様々な楽しみ方があります。

園でもいろいろな秋を子ども達は経験しますが、今月行われる運動会は「スポーツの秋」の代表的行事ともいえるでしょう。

今月の保育の目標は「同時協力(どうじきょうりよく)お互い助け合う」です。一人でできないことも、二人ならできます。二人でできないことも、大勢ならできます。皆で助け合うことによって思いもかけない大きなこと、経験ができることを学んでほしいと思っています。

運動会に向けての取り組みでは、まさにこの同時協力が実践され、ダンスやリレー等で協力して取り組む姿がみられることでしょう。例年の姿を見ると、一見、個人競技にみられるかけっこでも「声援」という形で友達を励まします。年齢が小さい学年は自分のことで精いっぱい、走り終わるとついつい他のことに気を取られるという光景も見られますが、年長児ともなるとそうではありません。時には立ち上がって声を枯らしながら友達を応援する姿が見られます。年長児は入園してから年長組になるまでの数年間の園生活で培った「同時協力」の経験から、助け合うことや、協力することの大切さが自然に身についています。自分は直接かかわりがなくても「がんばれ」と友達を応援する言葉が自然に出てくることもまた、「同時協力」の姿であるでしょう。運動会という大きな行事を一から作り上げることにより、子ども達は自信を持ち、友達同士の繋がりも一段と深まります。友達と一緒に時間を大切に、友達とともに育つ。園が目指す「共育」の姿でもあるのです。

今月は運動会だけではなくありません。広沢なかよしまつりでも友達や保護者の方と色々なことを経験することでしょう。どの行事も子どもにとって実り多き収穫になることを願いながら、保育者自身も子どもと想いを共有し充実した園生活を過ごしていきたいと思っています。

